

第9回共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議 議事要旨

- 日時 令和7年2月14日（意見等の回答期限日）
- 会議方式 書面開催
- 構成員（14名）青森公立大学 足達准教授
東北大学 岡田教授
弘前大学 片岡教授
弘前大学 福田学長【座長】
青森市医師会 北嶋会長
青森地域広域事務組合 村上消防長
平内中央病院 首藤院長
青森県医師会 高木会長
全国自治体病院協議会 丹野青森県支部長（十和田市立中央病院事業管理者）
医療法人芙蓉会村上病院 水木院長
乳がんピアサポートBECあおもり 佐藤代表
血液疾患と歩む患者・家族の会 納谷氏（青森県医療審議会委員）
青森市病院院運営審議会 原子前委員
青森市町会連合会 佐々木会長
- 案件 共同経営・統合新病院に係る基本計画（案）について

共同経営・統合新病院に係る基本計画（案）について

共同経営・統合新病院に係る基本計画（案）について、修正を求める意見等はなかったが、村上構成員及び納谷構成員から次のとおり意見があった。

（村上構成員の意見）

- ・資料の該当部分

資料2-1のNO.5北嶋構成員の御意見

- ・内容

共同経営・統合新病院に係る基本計画（案）第2章施設整備計画の「6 ヘリポート計画」の（2）オについて、ヘリポートは、次の点について留意し、整備願いたい。

- ①離着陸時の障害となることから、容易に一般市民が進入できないような措置（柵等の設置）を講じること。
- ②離着陸時にダウンウォッシュにより砂埃や飛散物等が発生しないグラウンド面（コンクリート）とすること。それができない場合、消防車両による散水が必要となることから、直近に散水用の水を給水するための消火栓等を設置すること。

（納谷構成員の意見）

- ・第8回有識者会議で質問した「質の評価」について改めて述べたい。質の評価に、患者の視点＝患者が評価する仕組みも検討いただきたいと考える。患者が評価する医療の質とは何かを項目建てするのは難しいと考えるが、患者の意見を聞く準備があることが評価

される点になると考える。

- 最先端医療でも治らない患者は、絶望とともに治療をあきらめる時がくる。それでも、一つの命として大事にされ、ともに悩み、苦しんでくれたと実感できれば、患者とその家族には「質の良い医療」であって、その後の療養生活の「慰め」となる。
- また、退院支援について、都市部では、患者本人やその家族が介護保険のケアマネジャーを見つけなければならず、大変な苦勞をしていると聞いた。その点も「退院支援」の中に入れてもらえると、スムーズな退院と在宅復帰が叶うのではないかと考える。

以上